

チーム えがお

【学校教育目標：たくましく生きる児童の育成】

・やさしい子 ・考える子 ・元気な子 ・やりぬく子



発行者：校長 岡田 達也

～ 園が お かが や き かんばる 学校 おう え んだん 「チ ャーム 北川」 ～

環境委員会のリーダーシップ! 「3人1プランター」

10日(水)のロングの昼休みに、環境委員会の子どもたちが企画運営する「3人1プランター」を行いました。環境委員会の子どもたちは、なかよし班の子どもたちがすぐに取りかかることができるように、20分休みを利用して土やサルビア、マリーゴールド、必要な道具を準備してくれていました。友だちが遊んでいる中、みんなのためにしっかりと働く姿は環境委員としての自覚と責任感がみなぎっていました。

おかげで、会は順調に進み、校舎の周りにはサルビアとマリーゴールドの赤色や黄色があふれ、とてもきれいです。植えるだけでなく、なかよし班で水やりをきちんと行い、もっと大きく育ててほしいと願っています。



【教育コラム】

「食育」について!

食は、人間が生きていくための基本的な営みの一つであり、健康を維持していくためには健全な食生活は欠かせません。しかし、近年、脂質の過剰摂取や野菜の摂取不足、朝食の欠食等の栄養の偏りや食習慣の乱れが多く見受けられるようになってきました。

こうした状況を踏まえて、平成17年に食育基本法が、平成18年に食育推進基本計画が制定され、子どもたちが食に関する正しい知識と望ましい食習慣を身に付けることができるよう、学校においても積極的に食育に取り組むこととなっています。食育基本法の前文では、「子どもたちが豊かな人間性をはぐくみ、生きる力を身に付けていくためには、何より「食」が重要である。今、改めて、食育を生きる上での基本であって、知育、徳育及び体育の基礎となるべきものと位置付ける」とされています。

そこで、学校教育においても「食育」(食に関する教育)の必要性が叫ばれています。具体的には、様々な経験を通じて「食」に関する知識と「食」を選択する力を習得し、健全な食生活を実践することができる人間を育てる食育を推進することが求められています。

↓ 「笠岡市食育ホームページ」より

